

区のおしらせ

人口と世帯	2月1日現在	(前年同期)
人口	住民基本台帳 128,989	(120,628)
	[うち外国人 4,924	(-)]
男	61,422	(57,291)
	[うち外国人 2,564	(-)]
女	67,567	(63,337)
	[うち外国人 2,360	(-)]
世帯	74,455	(69,572)
昼間人口(平成22年国勢調査)	605,926	



中央

3/1

中央区ホームページ <http://www.city.chuo.lg.jp>

別表1 中央区の被害想定

震源	東京湾北部	震度	6強 一部7
規模	マグニチュード7.3	気象条件	冬の12時・18時、風速8m/秒
発生確率	中央防災会議「首都直下地震対策専門調査会」公表 平成16年8月23日 南関東で発生するM7程度の地震 今後30年以内に70%		

事項	被害想定	
	冬12時、風速8m/秒	冬18時、風速8m/秒
建物被害	建物全壊件数 1,942棟	
人的被害	死者(うちゆれ・液状化建物被害)(災害時要援護者)	162人(157人)(12人)
	負傷者	8,533人
	避難者(うち避難所生活者)	44,570人(28,971人)
		44,773人(29,103人)
ライフライン支障率	上水道	68.5%
	下水道	29.5%
	ガス	100%
	電気	40.5%
帰宅困難者		309,315人
	(※東京駅を起点に4km圏内に存在する人数)	551,627人
エレベーター閉じ込め台数	585台	
津波による浸水被害	最大津波高(満潮時・水門閉鎖)	1.88m
	最大津波高(満潮時・水門開放)	1.88m
	最大津波の到達時間(東京湾)	3~7分
	水門開放時の建物被害	なし
	全壊棟数	なし
	半壊棟数	なし
	水門閉鎖時の人的被害	なし

別表2 平成25年修正のポイント

- 東京都が公表した被害想定を踏まえ、本区の防災対策の向上を図る。
- 新たな減災目標を掲げ、着実に本区の防災対策の強化・推進を図る。
- 本区の地域特性や人口増に対して適切に対応する。
 - ・88%のマンション居住者対策
 - ・帰宅困難者対策
- 本区が経験した東日本大震災の教訓を踏まえる。
- 女性の視点など、被災地から学ぶものを計画に反映する。
- 「自助」、「共助」の一層の強化を図るとともに「公助」と一体となった総合的な防災力の向上を図る。

平成二十五年二月二十二日(金)に中央区防災会議を開催し、東日本大震災を踏まえて都が公表した新たな被害想定(別表1参照)に対し、その対策を講じるため、中央区地域防災計画を修正しました。

地域防災計画とは
区民の生命、身体および財産を災害から守るため、災害発生時の対応や復旧・復興の方法などについて、あらかじめ定めた計画です。

平成二十五年修正のポイント
別表2のとおり

新たな減災目標の設定
都の減災目標と連動し、平成三十二年を達成年度と定め、減災目標を設定しました。

- ・死者を六割減少させる。
- ・住宅からの避難者を四割減少させる。
- ・建物の全壊棟数を六割減少させる。

目標達成への取り組み
減災目標を達成するため、東日本大震災の教訓や本区の実情を踏まえて防災対策の強化・推進を図りました。

計画の中では、地域防災力の向上や帰宅困難者対策など、区民や事業所をはじめ地域との連携強化を推進し、「自助」、「共助」の一層の強化を図るとともに「公助」と一体となった総合的な防災力の向上に取り組み、「災害に強いまち中央区」を実現していきます(別表3参照)。

中央区地域防災計画概要版「災害に強いまち中央区」を発行します
計画をわかりやすく説明した概要版を作成します。区のホームページでご覧になれるほか、三月下旬に区役所一階防災危機管理センターで配布する予定です。

※問合せ先
危機管理課危機管理係
☎(3546)5087

中央区地域防災計画を修正しました



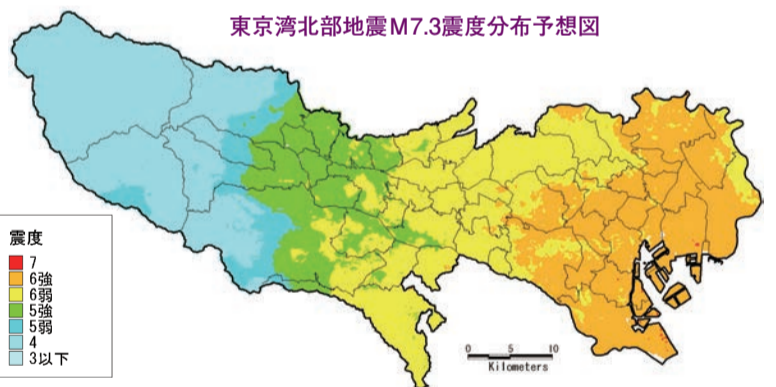
主な内容
リサイクル・資源回収のご協力をお願い……3頁
4月1日から環境土木部に「環境推進課」を新設します……4頁

現在一割となっている国民健康保険加入の七十〜七十四歳の方の医療費窓口負担割合が、平成二十六年三月まで延長される予定です。これは、医療制度改正により二割となった負担割合を今年度と同様に一割に据え置くものです。

なお、現役並み所得者およびその世帯に属する方で既に三割負担となっている方や、一定の障害認定を受け、後期高齢者医療制度が適用された方は対象外です。

※問合せ先
保険年金課資格係
☎(3546)5362

医療費窓口負担割合一割据置について



別表3 震災に対する本区的主要な取り組み

- 1 地域防災力の向上**
地域防災の取組、高層住宅対策、災害時要援護者への支援、情報伝達方法の多様化
- 2 帰宅困難者対策**
都区の取組、帰宅困難者一時待機施設の整備と運用、事業所防災対策
- 3 津波(水害)対策**
津波対策の取組
- 4 災害に強い安全なまちづくり**
住宅・建築物の耐震性の促進、災害に強い道路・橋りょう等の整備
- 5 本区の防災対策の強化**
職員体制の整備、医療救護体制、自治体の相互支援とボランティアの受け入れ、放射性物質等による影響への対策の推進、復旧・復興体制の早期構築

先日、「第十七回雪まつり」が盛り一面銀世界となったあかつき公園で、大勢の家族連れなどが参加され二日間にわたりにぎやかに開かれました。

十トントラック二十台で運ばれた二百トンもの雪は友好都市である山形県東根市からプレゼントされたもので、さっそく大きなゲレンデが出現。子どもたちは大喜びで雪だるまを作ったり、ソリやミニスキーに興じていました。

一方、「味コーナー」では山形名物のいも煮汁や玉こんにゃくのほかおしるこ、チャーハン、肉まんなどが無料で楽しめました。さらに、ひつじ、やぎ、うさぎ、モルモット、ハムスターなど十二種の動物に自由に触れ合える「ミニ動物園」は大人気。特にポニーには三歳から小学校低学年までが乗れるとあって、こちらのコーナーも長蛇の列ができてほどのにぎわいでした。

また、日赤PRコーナーなども開設されました。こうして「雪まつり」が盛況に開催できたのも地元町会、青少年対策地区委員会、PTAなど関係各位の多大なお力添えの賜であり、心から感謝申し上げます。



中央区長 山田 正典
やだ よしひで

